

2016年1月20日

第88号

発行：日本臨床検査技師連盟
発行責任者：直井 芳文
編集担当者：相山 広美

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆ 連盟ニュース ◆◆

今号の主な内容

◇新代表としてのご挨拶

新代表としてのご挨拶

明けましておめでとうございます。連盟の会員、関係各位の皆様には、ご健勝にて新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本臨床検査技師連盟におきましても関係団体各位のご支援、ご協力、そして会員一同力を合わせ一丸となって目的に沿っての事業活動を執行している所でございます。この場をお借りして役員並びに会員一同に代わり関係各位に心よりお礼申し上げます。

会員の皆様方には、すでにご存知の通り、連盟前代表である「宮島よしふみ」氏が本年夏に公示される第24回参議院通常選挙で自由民主党公認として（全国区）比例代表として、立候補致します。医療関連技術者及び関連業者様並びに臨床検査の飛躍を図るべく、そして国民の健康保持・病院から在宅までの地域医療体制の確保をめざしての立候補でございます。

前回の選挙におきましては、組織体制など数々の不備があったことを反省材料として、今回は、様々な関連団体並びに会員皆様方のご支援を受けて、日本臨床検査技師会並びに連盟として万全な体制で臨む所存でございます。皆様方には、これらを鑑み今選挙はより強固な体制で望むよう「宮島よしふみ」後援会の支援を宜しくお願い致します。

私たち連盟は、「臨床検査技師」が切望するメッセージであるその背景にある「職能団体の想い」も含めて国政及び国民に認知、理解、共感され、臨床検査技師の評価向上に結びつけるための事業をこれからも推進してゆきます。それには組織基盤強化はもちろんのこと、執行部と会員の「一体感・信頼感」が原点にあると考えます。会員のすべてが、「我が連盟」と認識し得ることがいかに形成されるかが重要であり、会員と共に汗を流すことのできる「仲間意識」つまり、「執行部と会員が、共有した目的」すなわち臨床検査技師の地位の向上に向けた法改正などの共通の目的に向かって躍進し、結果を出していく環境づくりにあると思います。これらを実行するには、中長期的な時間が必要となると考えます。だからこそ会員相互の目的意識を共有し、一貫性をもって継続発信することが大切であり連盟の役割と使命と考えます。

私自身は、近年においての連盟の運営を省みると「実行力・推進力」に欠けていた感は否めないと感じています。しかし前代表からの執行体制に於いては着実に成果を挙げつつあると感じます。今後も「継続・創造・協調」で実行力そして魅力のある連盟に発展させたいと思っています。そこで「組織力で組織を運営」する能力を会員と共に創造し、連盟の組織能力を高める取り組みを図り、長期的な観点による「人材育成」が重要であります。

最後に連盟の現時点での究極の目標は「技師法改正と業務独占」と考えます。会員の皆様とともに事業目標の達成のための継続的な活動を実施していきます。記載いたしました事項達成のため、会員皆様のご協力、ご指導を宜しくお願い致します。

日本臨床検査技師連盟 代表 直井 芳文